

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ゴービーPLUS		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 8日		2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年 9月 8日		2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年 9月 8日		2025年 9月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	可能な範囲で、支援員2人(異なる職種)の視点からみることが出来、複合的な視点で関わる事が出来る。	児のことを理解している職員を複数配置することで、日常的に相談などしやすく、一人だけの視点に偏らないよう取り組んでいる。	研修等への参加をさらに行い、知識・技術の向上を図るとともに、さらに視点が広がるよう取り組む。
2	保護者との連絡を定期的に行い、日ごろからLINEWORKSにてすぐに連絡を取り合える関係性を構築している。	日常から児の様子の変化や成長を共有し、急な相談にも応じている。	今後もこの関係性を継続し、一緒に児を見守っていけるよう取り組む。
3	同事業所内の訪問リハビリ等を利用しているケースでは、日常から情報交換や共有を行い、それぞれの支援に活かしている。	学校や園での児の様子を訪問スタッフに伝え、問題点や良い点の共有、訪問リハビリのメニューに反映するなどを行っている。	事業所内で会う機会の少ないスタッフもいるため、報告書を用いて、毎回の情報伝達がきちんと出来るよう検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児の多角的側面から見る事が出来るよう、支援員2人で関わる事が主の為、対応できる人数に限られていて、新規の依頼があった場合は待機していただいている。	二人での訪問支援が基本であることが要因と考える。	複数の支援員で共有し相談できる体制は保ちながら、現状のように支援員1人で対応可能な時には1人ずつ動くよう業務量の改善を図っていく。
2	訪問先の困りごと、課題について、その場で対応しきれないケースがある。	環境面は変えることが難しい部分がある。学校との日程調整のやりとりがスムーズに行かず、学期に一回程度の訪問頻度となるケースもある。当事業所のデイを利用していない児であり、普段の様子や取り組みの試行、またその変化を追いづらく、ケースについて把握しづらい、児との関係性が構築しづらい部分がある。	引き続き保護者様、関係機関との情報共有には力を入れ、児の理解が深まるよう努める。日頃から研修などに積極的に参加し、知識・技術の向上を図る。
3	事業所の施設や教具教材、取り組みなどについて、利用者様に分かりづらい面がある。	デイでの活動などはSNSや通信などで発信できているが、保育所等訪問支援では、他施設での場であり、個人情報保護の観点からも情報発信できるものが見いだせていない。	事業所についての説明はこれまで同様に契約時に実施する。自己評価の結果については、公表していることを保護者様、訪問先施設にお伝えしていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス ゴービーPLUS

公表日 2025年 10月 1日

利用児童数 : 7 2025年 10月 1日

回収数 : 7

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	28.60%			71.40%	学校での様子、本人使用物を通してのアドバイスをいただいています。学校活動を活動しやすくできるように	現状では必要な児がないが、ケースに応じて必要なものを準備し対応していく。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	85.70%			14.30%		面接室は設けており、使用可能であるが、基本的にはご自宅に訪問し報告等を行っている。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	85.70%	14.30%				
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	85.70%	14.30%				知識・技術の向上に努め、専門性のある支援を行えるよう努める。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	85.70%	14.30%				保護者・訪問先施設と連携を図り、情報共有を行いながら、個別支援計画に反映できるよう努める。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	71.40%		14.30%	14.30%		回数を重ねるうち先生・学校の意向も踏まえて作成できるよう努めている。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	71.40%	28.60%				契約時に重要事項説明書に沿って説明を行っている。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%					
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	42.90%	14.30%		42.90%		当事業所では実施していないが、必要な情報を提供できるよう努めていく。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85.70%			14.30%		相談のあった内容は、関係機関で情報共有して、必要に応じ対応できるように努めている。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	42.90%			57.10%	自己評価結果の公表は行っているのですが、閲覧可能であることをお伝えしていく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	85.70%			14.30%	個人情報取り扱いについては、同意書を頂いており、関係機関へのみ個人情報は使用している。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	57.10%			42.90%	該当する事例はないが、緊急事態が起こった場合には訪問先施設と協力し実践する。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	85.70%			14.30%	デイとして実施しており、訪問時の児の転倒などに繋がる安全性については十分配慮し実施している。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%				とっても楽しみにしています。その日は、普段以上に頑張ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 10月 1日

児童デイサービス ゴービーPLUS

利用児童数

7 2025年 10月 1日 回収数: 4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	50%	50%		事実の記録書類などはわかりやすく詳細に書いていただいています。	その場でのお話しに加え、報告書などで再度まとめてお伝えし、伝達しやすいよう努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	50%	50%		こちらからの質問はしていないので分かりません。	研修の機会を継続して設け、研鑽を行っていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	50%	50%		こちらからの質問はしていないので分かりません。	質問や話のしやすい関係作りを意識し、適切に応えられるよう努めます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	50%	50%		保護者との共通認識につながったが解決は難しい問題である。	難しいケースもあるが、先生方と連携し支援していくことで少しでも解消・軽減につながるよう努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	50%	50%		何か良い対策があればご教示いただきたいです。	難しいケースもあるが、児の成長に繋がるよう、児だけでなく学校・園、保護者等と連携し支援していきます。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
①授業の様子をみてもらっているため助言や説明などは無かったです。 ②いつも親身になって相談に乗っていただき感謝しております。					①児の観察を中心に行う場合もあり、助言に至っていないケースもあります。細かな児の変化や成長を捉え、共有していくことで児の生活が豊かになるよう支援していければと思います ②これからも一緒に児を見守り、支援していければと思います。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ゴービーPLUS		公表日			2025年 10月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	100%		児や学校や園で普段使用している教具教材の フィッティングを行うことが多い。その都度必要 な場合には手作りやデイにある物品を使用してい る。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		ケースによって一人で訪問することもあるが、概 ね二人で訪問できている。現在待機の方がおられ その需要に対しては対応できず待機の形を取って いる。			
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	100%		昨年度の評価を元に日々の業務に反映してい る。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	100%		普段から情報共有、相談を行っている。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		100%		会社の方針に従っていく予定。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	100%		保育所等訪問支援の研修自体は少ないため受けることは 難しいが堺市通所事業所育成事業学習会主催の「自閉ス ペクトラム症の子どもたち そのココロを理解する」の zoom研修を受講した			
適切 な支 援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	100%					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%		訪問先の先生や教頭先生と情報共有し、先生 がたのご意見もお聞きしている。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%	ツールは使用していないが、毎回細かな行動 観察を行い、報告書などに記載し記録として 残している。	必要に応じてツールの使用を検討する。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	100%					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	100%					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	100%		事前にLINEWORKSなどを利用して保護者さ まと支援内容の確認や相談を行い、スタッフ 間で共有し支援を行っている。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		支援後にスタッフ間で振り返りや気づいた点など 情報共有をおこなっている。一人の訪問時では、後 日、訪問時の情報を伝え共有して			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	100%					
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	100%						
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	100%						

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%			保育所等訪問支援に特化した研修はほとんどなく探している。外部研修や他事業所とお話する機会を得て助言や他事業所の取り組みについてお聞きしている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	50%	50%		お声がけいただいたら積極的に参加したいと思う。/デイとしては参加している。	必要に応じて参加する。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		デイでは保護者参加の茶話会など実施している。	情報提供ができるように努める。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%				
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%		デイとして参観や座談会など行っている	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%		デイとしては実施している。	個人情報の保護の観点を鑑みても難しい部分がある。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	50%	50%		毎回カンファレンスとしては取れておらず、訪問先のご都合のいいときには終わりにその日の要点についてはなしをさせていただいている。	学校などの施設側のお時間を頂くことにもなるため、毎回は難しいが、出来るだけ実施できるように努める。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%				
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%				

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%	会社として実施している。/デイとしては実施している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	50%	50%	会社として実施している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	50%	50%	会社として行っているが、当事業において該当する事例がない。今後発生した際はヒヤリハットに記載していく。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		会社として行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		100%	該当する児はいない。	可能性も含めて、支援計画への記載をしていく。